



平成31年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月14日

上場会社名 Abalance株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3856 URL <http://www.abalance.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 光行 康明
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 福島 正悟 (TEL) 03-6864-4001
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第1四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第1四半期	2,138	183.7	282	—	276	—	177	—
30年6月期第1四半期	753	△6.4	△138	—	△141	—	△92	—

(注) 包括利益 31年6月期第1四半期 181百万円(—%) 30年6月期第1四半期 △91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第1四半期	34.32	34.21
30年6月期第1四半期	△17.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年6月期第1四半期	8,462	1,925	22.1
30年6月期	7,188	1,815	24.6

(参考) 自己資本 31年6月期第1四半期 1,872百万円 30年6月期 1,766百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期	—	7.00	—	10.00	17.00
31年6月期	—	—	—	—	—
31年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成31年6月期の第2四半期末(中間)および期末の配当金につきましては、現在はまだ未定です。

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,176	△31.3	180	△77.3	205	△73.1	143	△74.4	27.56
通期	7,323	0.3	512	△44.7	562	△35.7	377	△50.2	72.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期1Q	5,189,511株	30年6月期	5,189,511株
② 期末自己株式数	31年6月期1Q	26,945株	30年6月期	1,745株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期1Q	5,181,803株	30年6月期1Q	5,187,767株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(修正再表示)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年7月1日～平成30年9月30日）における我が国景気の基調を、景気動向指数（一致指数）により判断すると、7月・8月はそれぞれ“改善”を示していましたが、9月には“足踏み”を示すに至りました。

このような経済状況の中におきましても、当社グループは、グリーンエネルギー事業（太陽光発電事業）、建機販売事業、IT事業に注力して、グループ全体の業績向上に努めてまいりました結果、売上高・利益は共に前年同期比で大幅に増加しました。

グリーンエネルギー事業につきましては、引き続き、受注から建設工事の施工、その後の保守メンテナンス、IT技術を生かした遠隔監視装置など当社グループの強みであるワンストップサービスを機軸に市場競争力を向上させてゆく方針であります。これに加えて、発電事業にも注力し、グループ全体の業績向上に努めてまいります。

因みに、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,138,673千円（前年同四半期比183.7%増）、営業利益は282,940千円（前年同四半期は営業損失138,073千円）、経常利益は276,584千円（前年同四半期は経常損失141,527千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177,864千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失92,018千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. IT事業

当社主力製品「Knowledge Market」、マイクロソフト関連事業におけるライセンス販売、SI（システムインテグレーション）、運用保守等により、売上高15,614千円（前年同四半期比43.6%減）、セグメント利益2,925千円（前年同四半期比94.9%増）となりました。

2. 建機販売事業

建機を国内及び海外に販売した結果、売上高136,011千円（前年同四半期比28.2%減）、セグメント利益5,047千円（前年同四半期はセグメント損失5,842千円）となりました。

3. グリーンエネルギー事業

ソーラーパネル、関連製品等の販売及び太陽光発電設備の工事請負等の結果、売上高1,987,047千円（前年同四半期比270.2%増）、セグメント利益379,842千円（前年同四半期はセグメント損失40,744千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,188,333千円となり、前連結会計年度末に比べ38,413千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が167,019千円、受取手形及び売掛金が65,899千円増加、及び仕掛品が430,863千円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,274,078千円となり、前連結会計年度末に比べ1,312,144千円増加いたしました。これは主に自社保有の太陽光発電所等に係る有形固定資産が1,164,108千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、8,462,412千円となり、前連結会計年度末に比べ1,273,731千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,915,017千円となり、前連結会計年度末に比べ41,559千円増加いたしました。これは主に未払法人税が210,428千円増加、短期借入金が161,727千円減少したこと等によるものであります。固定負債は2,622,287千円となり、前連結会計年度末に比べ1,123,062千円増加いたしました。これは主に長期割賦未払金が1,146,600千円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、6,537,305千円となり、前連結会計年度末に比べ1,164,622千円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,925,106千円となり、前連結会計年度末に比べ109,108千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益177,864千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は22.1%（前連結会計年度末は24.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月29日の「平成30年6月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	601,243	768,263
受取手形及び売掛金	335,120	401,019
商品	327,301	374,981
販売用不動産	43,972	54,544
仕掛品	3,659,211	3,228,348
その他	479,086	580,363
貸倒引当金	△219,188	△219,188
流動資産合計	5,226,747	5,188,333
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具	970,490	1,895,937
減価償却累計額	△250,451	△271,028
機械装置及び運搬具(純額)	720,039	1,624,908
土地	707,428	967,428
その他	28,868	28,107
有形固定資産合計	1,456,336	2,620,444
無形固定資産		
のれん	168,789	143,470
その他	47,986	46,382
無形固定資産合計	216,775	189,853
投資その他の資産		
その他	301,695	476,653
貸倒引当金	△12,873	△12,873
投資その他の資産合計	288,821	463,780
固定資産合計	1,961,933	3,274,078
資産合計	7,188,681	8,462,412
負債の部		
流動負債		
買掛金	410,579	555,773
短期借入金	1,269,811	1,108,084
1年内返済予定の長期借入金	799,678	787,106
未払法人税等	236,794	447,222
前受金	833,629	601,101
賞与引当金	20,368	11,196
訴訟損失引当金	7,246	7,246
その他	295,349	397,286
流動負債合計	3,873,457	3,915,017
固定負債		
長期借入金	1,139,303	1,142,747
長期割賦未払金	—	1,146,600
その他	359,922	332,940
固定負債合計	1,499,225	2,622,287
負債合計	5,372,683	6,537,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,634	700,634
資本剰余金	44,951	44,951
利益剰余金	1,022,260	1,148,246
自己株式	△847	△21,062
株主資本合計	1,766,999	1,872,770
新株予約権	1,800	1,622
非支配株主持分	47,198	50,713
純資産合計	1,815,997	1,925,106
負債純資産合計	7,188,681	8,462,412

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
売上高	753,886	2,138,673
売上原価	591,895	1,504,963
売上総利益	161,991	633,710
販売費及び一般管理費	300,064	350,769
営業利益又は営業損失(△)	△138,073	282,940
営業外収益		
受取利息	27	719
持分法による投資利益	1,345	2,835
為替差益	2,781	—
貸倒引当金戻入額	3,156	—
その他	1,246	13,732
営業外収益合計	8,556	17,288
営業外費用		
支払利息	11,008	11,801
支払手数料	1,002	5,308
その他	—	6,535
営業外費用合計	12,011	23,644
経常利益又は経常損失(△)	△141,527	276,584
特別利益		
新株予約権戻入益	—	177
特別利益合計	—	177
特別損失		
固定資産除却損	127	—
特別損失合計	127	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△141,655	276,761
法人税、住民税及び事業税	△23,919	227,024
法人税等調整額	△25,814	△131,642
法人税等合計	△49,734	95,382
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,920	181,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	3,515
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△92,018	177,864

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△91,920	181,379
四半期包括利益	△91,920	181,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△92,018	177,864
非支配株主に係る四半期包括利益	97	3,515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社グループは、グリーンエネルギー事業に係る機械装置の減価償却方法について定率法を採用していましたが、当連結会計年度より定額法に変更しております。

これは、当事業年度を初年度とする中期経営計画の策定を契機に、機械装置の使用実態を改めて検討したところ主たる資産である太陽光発電所は長期安定的に稼働し収益に安定的に貢献していくことが見込まれるため、グリーンエネルギー事業に係る機械装置の減価償却方法を定率法から定額法に変更することが経済実態をより適切に反映すると判断したことによるものであります。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益が25,936千円増加しております。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。